



- 今年度の開進第二中学校のスローガンは、「二中行事の復興」です。
- そして、合言葉は、「先手必勝」です。

校長 牧野 英一

学校だより令和4年4月号では、令和4年度の始業式で生徒に話した内容を紹介させていただきます。

### 1 自己紹介

世田谷区立三宿中学校から来ました牧野英一です。三宿中には8年間勤務しました。練馬区には30年以上住んでいるので、皆さんと接することができ大変うれしいです。

### 2 令和4年度の開進第二中学校のスローガン

令和元年から、感染症予防対策のために、学校生活が大幅に制限を受けています。令和4年度も、少なからず影響を受けることが予想されます。こうした中で、令和4年度のスローガンは、「二中行事の復興」です。「復興」とは、再び盛んになるという意味です。ここにいる3年生・2年生、そして、明日入学する1年生と教職員、保護者や地域の方々と力を合わせて、「今、何ができるのか。」「どうすればいいのか。」を考え、知恵を絞り、開進二中の行事を復興していきましょう。

### 3 「夢や目標」をもつ

そのためには、夢や目標をもちましょう。皆さんは、夢や目標とは何だと思えますか。いろいろな考え方があると思います。

私は、夢や目標とは、数カ月後、数年後、そして、数十年後の自分の具体的な姿だと考えています。

開進二中の行事を復興するために、ぜひ、数カ月後の具体的な自分の姿を描き、その姿を実現するために、「今、何ができるのか。」「どうすればいいのか。」を考え、行動してください。

### 4 「先手必勝」の意識

これから皆さんが私の話を聞く中で、よく耳にする言葉があります。それは、「先手必勝」という言葉です。「先手必勝」とは、自分で自分の夢や目標をつかみとる意識のことです。夢や目標を達成した人は、運が良かったといい、達成できなかった人は運が悪かったといいます。その違いは何なのでしょう。

夢や目標に対して、具体的な行動を起こさなければ、何も達成できませんし、ましてやかなえることなど、不可能です。数カ月後の自分の姿を描き、今の自分に「何ができるのか。」「どうすればいいのか。」考え続け、あきらめずに実行してください。

### 5 「先手必勝」のあいさつ

皆さんが、今日から実行できることがあります。それは、先手必勝のあいさつです。なぜ、あいさつは先手必勝がよいのでしょうか。どうしてだと思いますか。

自ら声をかけるとは、無条件で相手を受け入れるということだからです。思い浮かべてみてください。あいさつが遅れる時は相手を見て、どうしようか考えていませんか。つまり、相手によって、あいさつをするかしないか考えているのです。

今日から新年度です。先手必勝のあいさつを試すには、最適な時期です。新たな人との出会いで相手を選ばないでください。まずは、クラスの仲間や先生、廊下ですれ違う全ての人に、先手必勝そして、笑顔であいさつしてみてください。きっと、場の雰囲気明るくなり、進級という新たなスタートの大きな力になると思います。

それでは「二中行事の復興」をスローガンとして、「先手必勝」の意識で皆さんと力を合わせて、令和4年度を盛り上げていきましょう。